

ガラスびんの 再発見!

こんにちは、シーナです。前号までのシーナズウォッチング、「量り売りウォッチング」や「お酒の広告ウォッチング」ではご好評いただきました。でも社内では「もっと商売になるもん書いてんか」(大阪営業部長)「売れるもの載せないダメ、じゃん」(東京営業部長)と小言しきり。で、今回は当社営業部隊のお役・直結型テーマ、「ガラスびん」を選んでみました。キャプションも、一部は当社営業部に書いてもらいました。「ガラスびんの新しい付加価値創造」が、当社の社長方針! ございます。なにとぞよろしく。

企画 & Text & Photo: シーナ K. エミリ 喜多産業 / 企画開発 G
 Kita Sangyo is a leading supplier of glass bottles to Japanese Sake, Syochu, Wine, especially in premium segment. This is an analysis into glass bottle design.
 text & photo: Sienna K. Emiri / Planning & Development G. Kita Sangyo Co., Ltd.

K² Design

一升壇のバリエーション



▲ 1.8ℓカラーびん



▲ 1.8ℓカラーびんフロスト加工



← 1.8ℓ変型びん

原点回帰、あるいは「痛みを伴う改革」の必要性
 「一升壇のバリエーション」: 私、シーナが日本生活を始めたとき、「日本伝統ノ容積単位、一合、一升、一石ッテ合理的デアルナア」と感心いたしました。コップ1杯がちょうど一合で、10杯が一升。オンスやリットルより生活感覚にあってます。リサイクル性への社会要請も含めて「一升壇」ってスグレ容器! なのにどんどん利用量が減ってきているんですね。ボルドー型の壇を見ると誰もがワインを連想するのと同じように、一升壇のあの形を見ると清酒、焼酎、泡盛を自動的に思い浮かべる、日本酒の「原点容器」だと思うのですが、、「痛みを伴う構造改革」かもしれませんが、一升壇をもっと見直してもいいのではないのでしょうか?
 (Sienna)

高付加価値型のお酒の商品企画には、色々なカラーの一升壇が大変有効です。喜多産業は様々な色を取り揃えているほか、フロスト加工も含め、小ロット対応を得意にしています。また、変形の1.8リットルびんもあります。(営業部)

K² Design

720 mlとっくり、720 mlとびん、ぐい呑み



http://www.kitasangyo.com
e-mail: osaka@kitasangyo.com tokyo@kitasangyo.com

2001.01 / Kita Sangyo Co., Ltd.

実践的、温故知新 「とっくり750」(左の2本): 伝統的な「通い徳利」をイメージした場で、720mlまたは750mlの充填が可能。半自動場にしてコストダウンを図っています。日本酒のほかワインでも面白い。「斗壺型720」(右の2本): 昔の斗壺をかたどった場。同じ形で1.8リットルもありますから、シリーズ化が可能。また、きかい栓(口金方式、写真右端)もラインナップに加わりました。(営)

月下独酌にも、居酒屋の衆盃にも「ぐい呑み」:
ちびちびのむ、って日本独自の酒文化だと思います。お酒が「ちょこ」っとなかなか入らない猪口(ちょこ)で、何度も何度もさしつさされつ、というのなかなか好き!であります。
たった一口で終わってしまう「かわらけ(盃)」でのむ、なんて優雅な方法はいったい誰が考えたのでしょうか? ワイン文化とはまったく違う、日本の酒文化の奥行きを感じますね。
写真の「ガラス製ぐい呑み」は、猪口より大きく本来のぐい呑みより小さく、という適度なサイズ。焼酎や泡盛にも合いそうですね。(S)

色はアサギ(浅葱) ピンク、白(透明)、グリーンの4色。1ケース120個入りです。(営)



K² 「ハッピーサの新しい発想の発明」
EACH ENVIRONMENT, creating a new value in packaging
K²は、KKとならぶ富多産業の新しいサブロゴです。よろしくお願ひします。

K² Design

四角ツイスト 500, 300, 180



original drawing : Nihon Yamamura Glass

http://www.kitasangyo.com
e-mail: osaka@kitasangyo.com tokyo@kitasangyo.com

2001.01 / Kita Sangyo Co., Ltd.

「ドレス500」ピンク
限定吹製!

ドレス500は、一般的にはびん吹製に利用されなかったガラス炉の色変えの間のガラスを活用する「エコ・ブルー」、「エコ・グリーン」の2色を採用していますが、今回ピンクを限定で5000本特別に吹製します。営業部までお問い合わせください。(営)



ひねられたオベリスク
「四角ツイストシリーズ」:
左から、500ml(「ドレス500」) 300ml(参考CADイラスト、計画中) 180ml(「シャトー180」) 四角断面の壺をひねった形状。表面はうろこ状に削りだした感じの仕上げです。(営)

「なんで500はドレスで180はシャトーなの??」(S)

K² Design

SLIM375



http://www.kitasangyo.com
e-mail: osaka@kitasangyo.com tokyo@kitasangyo.com

2001.06 / Kita Sangyo Co., Ltd.

Win より Mac 好みの、デザイン通人に 「SLIM375」:
高級志向のワインや清酒・焼酎などにぴったりマッチしたイメージのデザインです。スリムで背の高いハーフボトル。色は写真の「るり」のほか、「あさぎ」、「白」、「かれは(枯葉)色」の4色です。(営)

Mac 好みのデザイン通人に(その2) 「ワイン壺+コルク栓注ぎ口」:

高級ピネガーやオリーブオイルのためのパッケージ事例。ワインコルクで打栓しておき、注ぎ口金具のついたコルク栓を添付しておく。遊び心のある壺の演出です。(S)



K² Design

"SLIM 360" + "コルク栓注ぎ口"



http://www.kitasangyo.com
e-mail: osaka@kitasangyo.com

K² Design

**<for reference>
10 ℓ Glass Baloon**



http://www.kitasangyo.com
e-mail: osaka@kitasangyo.com tokyo@kitasangyo.com

2001.07 / Kita Sangyo Co., Ltd.

叶姉妹よりもグラマラス?

「(参考) 10 リットルバルーン」:

ドイツで買ってきた量り売りガラス容器。液面が下がってきたときに外部からほこりを吸い込まないように、最上部に簡単なフィルターがついている! という凝りよう。チューブをつまむ方法は、水道の蛇口のようなバルブ方式よりサニタリーの確保が容易だそうです。ドイツの量り売り専門店 Vom Fass (酒器研究 2001年4月号参照)もこの方式のコックを使っていますね。(S)

<for reference>

Italian Water Bottle



有機栽培サラダとペペロンチーノにも、湯葉と高野豆腐にも、似合うボトル

「(参考) イタリアのミネラルウォーターのびん」:

イタリアのレストランで、ちょっと素敵なおびんを発見して写真をパチリ。一昔前はレストランのテーブルには必ずミネラルウォーターのびんがあったが、最近では浄水器で水を作って、びんはレストラン内で繰り返し使用する(びんのゴミが出ない、したがって環境に優しい)システムを見受けます。

で、日本に帰ってきたら同じ壺形(写真右、清酒の容器だった)を発見してびっくり。カラフェというデカンタとか、若干広口のびんで密封が難しそうですが、「よいカタチ」ですね。

余談ですが、同じ「びん」でも漢字で書くと「壺」は狭口びん(=ボトル)「瓶」は広口びん(=ジャー)だと習いましたが、知ってました?(最近、日本人以上に日本語の博覧強記、といわれて光栄です。S。)

このびんは販売可能です。コルクで密封も可能。当社営業部にご照会ください。(営)

K² Design <for reference>
500 mlびんの形状検討
高いびんから低いびんまで

H=330mm
H=370mm
H=320mm
H=148mm

http://www.kitasangyo.com
e-mail: osaka@kitasangyo.com tokyo@kitasangyo.com
2001.02 / Kita Sangyo Co., Ltd.

研究、研究、日々研究。ローマは一日にしてならず。
「(参考)500 mlのびん各種」:
ここにあるのはすべて500mlのびんばかり。ガラスびんの「形」を研究するためのサンプルとして当社が集めたもので、背の高いものから低いものを順に並べてみたものです。

ワインでは世界的に背の高いびんが流行って、一方焼酎では背の低いびんが流行っているように見えますが、逆(背の低いワインびん、背の高い焼酎びん)もまた面白いのでは？(S)

デザイン力、企画力が当社のウリです。ガラスびんのパッケージ企画は当社にお任せください！(営)

レッセフェール、もっと自由に！

「(参考)コスメティクスのびんなど」:

お酒のびんにはない面白いパッケージデザイン。右上から時計回りに、

> 内側に形状をつけている(ように見えるだけ?)びん。本当にこんなことができたら面白いなあ。

> 金箔をガラスの中に閉じ込めたガラス。個人的には、金粉酒を飲むより金箔入りガラスびんの商品のほうが欲しくなります、

> 底が分厚いびん。製壺メーカーさんいわく、自動壺成型ではびん底を厚くするのは大変難しいのだそうです。

> びんの底を持ち上げたびん。ワインびんでは結構ありますが、日本のお酒にも応用できそう。(S)

K² Design <for reference>
馬のびん(ドイツ製)

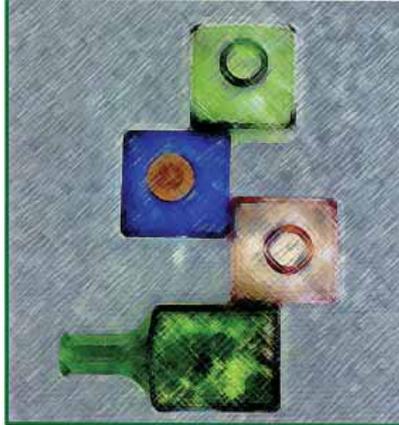
フェラーリの跳ね馬(に似てませんか)
「(参考)来年の干支のびん」:
子、丑、寅、、、って、日本や中国の年の表現方法はなんだか、とっても「含蓄あり」ですね。来年の干支の「馬」の壺、ドイツ製です。
日本の陶器だと馬の背中にびん口があったりするのですが、ドイツ人がデザインするとこんな形になっちゃうのですね。(S)
容量は350mlです。ご照会ください。(営)

http://www.kitasangyo.com
e-mail: osaka@kitasangyo.com tokyo@kitasangyo.com
2001.07 / Kita Sangyo Co., Ltd.

K² Design <for reference>
香水・化粧品のびんなど

"Dandell" Bottom Up
"GIVENCHY" Inside Shape
"JESSE MYKKE" Thick Bottom
"Canadian Spirit" Gold Leaf Inside

http://www.kitasangyo.com
e-mail: osaka@kitasangyo.com tokyo@kitasangyo.com
2001.09 / Kita Sangyo Co., Ltd.



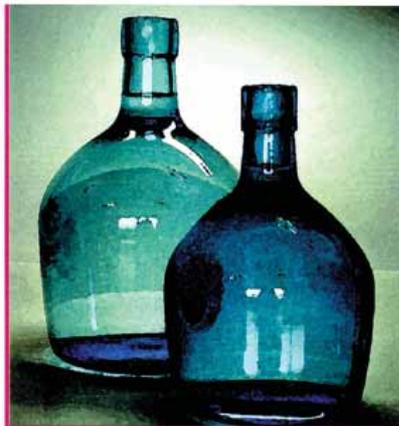
「アート300びん」
シンプルな典型で、
オンチープルーションや
インテリアにもマッチするびん。



「SYARE ボトル 180」
光の反射を利用した
「しゃれた」デザイン。

お酒の器(うつわ), 研究中...

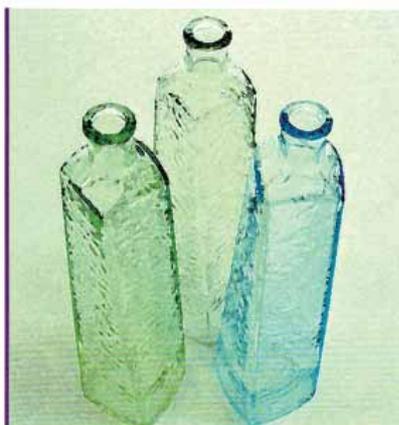
造形(ぞうけい)、色彩(しきさい)、肌合い(はだあい)...
ガラスびんの新しい付加価値を提案します。
掲載のガラスびんは当社が企画・デザインしたびん。
またはお客様のご注文をお受けして当社が作製したものです。
ガラスびんのパッケージの企画はおまかせください。



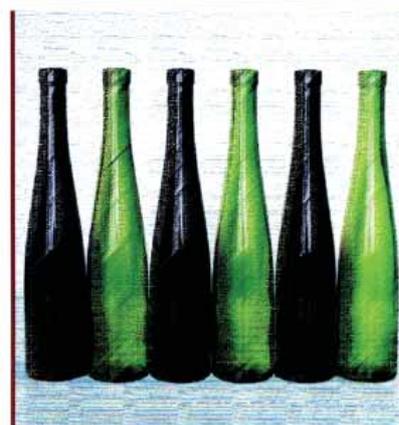
「斗びん 1.8Lと720ml」
昔の斗びんをイメージして
デザインしたびん。



「ドレスびんシリーズ」
ドレスを着た女性をイメージして、
当社が企画したびん。
写真左から「ドレスT-180」,
「ドレスII-180」,「シャトー-180」。



「ドレス500」
表面はつらつかに削り出し、
光の反射を利用した
高級感のあるイメージ。



「SLIM 375」
スリムで肩の高いハイフボトル。
高級感内のワインや、
啤酒・焼酎などにぴったり合います。

ガラスびんのほか、キャップ、加熱機能付容器、PETボトル、アルミ缶、ラベルなどのパッケージ材料、ならびにパッケージング機械も提供しています。当社のホームページをご覧ください。

<http://www.kitasangyo.com>

KK 喜多産業株式会社
KITA SANGYO CO., LTD.

大阪営業部 TEL:06-6731-0251 osaka@kitasangyo.com
東京営業部 TEL:03-3851-5191 tokyo@kitasangyo.com

「デザイン、命(いのち)」

「日本醸造協会誌」の奇数月号に掲載している当社の広告です。(偶数月は機械の広告)いつもは白黒なので、カラーでお目にかけます。ドレスびん、アートびん、SYARE ボトル、などご好評をいただいている、当社デザインのオリジナルびんのラインナップです。(営)

